建 管 第 １ ０ ７ 号
令 和 ８ 年 ７ 月 ３ １ 日

建設局各部課長　殿

建　設　局　長

中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更の運用について（通知）

このことについて、令和８年７月３１日付け建管第１０６号で通知を発出したところです。

この運用について、別紙のとおり通知します。

記

１　対象工事
建設局発注の工事（土木工事）

２　調達検討資材
ナフサを由来とする建設資材（例：塗料、シンナー、塩化ビニル管など）

３　特記仕様書への記載
別紙の特記仕様書記載例を参考に明記する。

４　適用日
令和８年８月１日以降の執行伺い決裁分から適用する。
なお、令和８年７月３１日以前に執行伺い決裁を受けた工事については、受発注者間で協議が整ったものから適用する。

【問い合わせ先】
建設管理部管理課技術管理係
直通 216-1475・内線 3365

別紙

中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更の運用について

1　特記仕様書の記載例

（1）調達検討資材を含む対象工事において、以下の記載例を参考に、特記仕様書に本運用の対象であることを記載するものとする。既契約工事においては、特記仕様書記載例により受注者に指示を行うこととし、調達検討資材は受発注者間で協議の上、設定すること。

特記仕様書記載例

第〇条 中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更

1 本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」）について、設計変更を行う対象工事である。

2 調達検討資材は下表を想定している。これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

表―1　調達検討資材

資材名	規格	設計数量	単価適用年月	単価適用地区
塩化ビニル管	〇〇mm	〇m	R〇．〇月	〇〇地区
塗料用シンナー	〇〇用シンナー	〇〇L	R〇．〇月	〇〇地区

3 受注者は、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員と協議するものとする。ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、以下を想定している。

① 調達検討資材の代替資材を調達した場合

② 調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合

③　調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）

4 受注者は、別途調達経費に係る証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

（2）単価適用年月、単価適用地区については、入札時の設計条件を明示する。

（3）設計数量については、設計図書（数量総括表や図面等）に記載された数量を明示することを基本とする。

なお、設計図書に数量が明示されていない資材については、関連する資材から、一般的な換算値を用いて算出し明示するものとする。

（例：塗料用シンナーについて、使用する塗料の標準的な希釈率を基に算出）

2　積算方法

（１）設計変更は、精算変更時（指定部分がある場合には、その指定部分の精算変更時）に行うことを基本とする。

（２）設計変更を行う対象数量の考え方は以下のとおりとする。

ただし、既済部分について出来高部分払いを行っている場合は、当該既済部分払いの対象となった出来高部分に係る数量を除いた数量を設計数量とする。

証明された数量と対象数量の考え方

証明数量＜設計図書の数量	→ 設計変更不可。
設計図書の数量≦証明数量≦設計数量	→ 設計変更可。対象数量は証明数量
設計数量＜証明数量	→ 設計変更可。対象数量は設計数量

注）設計図書の数量：設計図書（数量総括表や図面等）に記載されている数量

設計数量：設計図書の数量にロスを加えた数量（積算上の数量）

証明数量：受注者から証明された数量

（※精算変更見込み数量を考慮すること。）

換算値などを用いて明示した調達数量については、受発注者間で合意した換算値や実際の使用量などを基に、受発注者間で協議して最終的な設計数量を決定すること。

（３）設計変更に用いる単価は、証明書類で確認出来た実際の購入価格とする。

（４）別途調達経費は、直接工事費に計上するものとする。材料費が個別に設定されている場合は、実際の購入価格に入れ替えて設計変更を行うこと。土木工事標準単価など材料費が分離できない場合は、調達検討資材の当初入札時点での実勢価格と実際の購入価格の差分を計上して設計変更を行うこと。

（５）本通知に基づく設計変更内容は、工事請負契約書第 25 条（スライド条項）の対象外とする。

3　工期

設計変更に伴って必要となる工期は、適切に変更を行うこと。

（参考）ナフサ由来の建設資材例

積算資料ページ	品名	規格
200	コンクリート用混和剤	AE減水剤
251	鉛・クロムフリーさび止めペイント	JIS K 5674 1種
251	変性エポキシ樹脂系塗料	JIS K 5551 C種1号・2号　厚膜
254	合成樹脂エマルションペイント	JIS K 5663 1種
256	塗料用シンナー	
335	舗装用材	舗装用補修材
517	軽量盛土材	EPSブロック
521	合成樹脂排水材	ダブル・シングル構造
525	NATM工法用シート	EVA+透水性緩衝材
537	止水板	塩化ビニル製
538	目地板	
578	建築用シーリング	
629	断熱材	ビーズ法/押出法ポリスチレンフォーム
629	断熱材	硬質ウレタンフォーム
691	電線管路材	Ｃ．Ｃ．ＢＯＸケーブル保護管
693	電線管路材	合成樹脂可とう電線管
693	電線管路材	波付硬質合成樹脂管(FEP)
814	硬質ポリ塩化ビニル管	一般管（ＶＰ）